

Title	日本の企業買収における統合マネジメント-人・組織の融合について場のマネジメントの視点から考察-
Sub Title	
Author	森田, 雅俊(Morita, Masatoshi) 浅川, 和宏
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	2008
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 2008年度可能経営学 第2372号 可能
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002008-2372

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

論文要旨

所属ゼミ	浅川 研究会	学籍番号	80731055	氏名	森田 雅俊
(論文題名)					
日本の企業買収における統合マネジメント —人・組織の融合について場のマネジメントの視点から考察—					
(内容の要旨)					
<p>M&A は企業の競争力や企業価値を高めるために、経営者が常に検討しなければならない経営戦略の選択肢の一つとして定着している。しかしながら、M&A の成功確率は決して高いとは言えず、欧米では「M&A の3分の2は失敗する」との各種調査結果も出ているという。</p> <p>これまでの M&A に関する議論は、財務的視点や戦略的視点のものがほとんどであり、買収後の統合マネジメントに関する関心・議論は前者のそれと比較すると少ないのが現状であった。しかしながら、M&A 後にシナジーを実現し、企業価値の向上という目的を実現するためには、「人・組織の融合」をスムーズに進めることが必要であり、統合マネジメントの重要性は決して低くはない。つまり、M&A を「人材市場の現象、人的資本の取引」として捉え、「人・組織の融合」をスムーズに進めることに必要な要因を探ることは、失敗確率の高い M&A を成功に導くために、重要なのである。</p> <p>本論文では、調査対象を被買収企業（対等合併は除く）とした。そして、買収の効果を企業の経営様式が変化することに着目した「経営学的視点」と財務的パフォーマンスに着目した「経済学的視点」という2つの視点で捉えて分析を試み、両者の比較をすることで、日本における企業買収後の統合マネジメントを成功に導く条件は何かを解き明かすことを目的とした。方法論としては、演繹法によるアンケート調査・統計分析を主体としながら、3つの企業買収のケーススタディによる帰納法も併せた abductive アプローチによる調査・分析を行った。その結果、新会社において、トップマネジメントが「買収の目的・ビジョンを目標設定や評価制度を使って組織に浸透させること」、そして現場オペレーションにおいて「良好なコミュニケーション」で、部署を越えた横の相互作用とモチベーションの維持を展開することが、統合を成功させるための鍵となることが分かった。</p>					